

# 第5次朝日町総合計画

平成28年度～平成37年度

ダイジェスト版



富山県 朝日町

写真：舟川ベリ [春の四重奏]



## ごあいさつ



この度、平成28年度から平成37年度までを計画期間とする第5次朝日町総合計画を策定いたしました。

朝日町は、昭和29年8月1日、1町6箇村が一つとなって以来、今日の町の繁栄の礎を築かれた先人のたゆまぬ努力と偉業によって、着実に発展を遂げてまいりました。

そのような歴史のなか、現在、少子化と若者の町外への流出が進み、高齢化率が県内で最も高くなるなど、人口対策は町にとっての深刻かつ重要な課題となっております。また、企業誘致や育成支援、移住・定住対策、産業振興、あさひ総合病院の医師・看護師の確保、県立泊高等学校の存続など、数多くの課題が山積しています。

朝日町がこれからも持続的な発展を遂げていくためには、町民一人ひとりの「我が町」や地域に対する誇りと夢、そして希望を高めていくことが何よりも重要です。

このことを踏まえ、社会経済情勢の変化や新たな課題に対応し、地方創生、町再生を目指すため、この先10年間の総合的かつ計画的なまちづくりの指針として、「夢と希望が持てるまちづくり 朝日町」(子育て応援日本一のまち、生涯健康で活躍できるまち、移住・定住・交流で賑わうまち)を将来像に掲げた「第5次朝日町総合計画」を策定するものです。本計画では、この将来像の実現を図るため、まちづくりの7つの柱を基本目標とするとともに、平成27年10月に策定した「朝日町総合戦略」を重点プロジェクトとして位置づけたところです。

朝日町の魅力を維持し、さらに発展させ、広く発信していくためには、町民、地域、団体、事業者、そして行政のまちづくりに携わる全ての人々が、主体的に参加し、情報を共有し、協力・連携するといった「オール朝日町」での取り組みが必要不可欠です。

また、町民一人ひとりが危機意識を持ち、「ここまでやらなければ町は変わらない」、「朝日町を再生する」という気概を持ち、心を一つにして、まちづくりを進めていくことが重要です。

朝日町という「我が町」、「ふるさと」のため、町民一人ひとりが活躍し、輝き続けられるまちづくりを推進してまいります。そして、この先にこそ、本計画で掲げる「夢と希望が持てるまちづくり」があるものと確信しています。

本計画の趣旨と目的を十分ご理解いただき、町の将来像の実現のために、町民の皆様のご積極的なご参加・ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定にあたりまして多大なるご尽力を賜りました朝日町総合計画審議会、町議会をはじめ関係各位、ならびに貴重なご意見ご提言をいただきました町民の皆様に対しまして厚くお礼を申し上げます。

平成28年3月

朝日町長 笹原 靖直

## ■ 第5次朝日町総合計画の基本的な考え方 [策定にあたっての基本姿勢]

### 1 まちづくりのあらゆる主体の連携・協働を重視した「オール朝日町」の計画

住民や地域、団体、事業者など、まちづくりに関わる様々な主体と行政とがまちづくりの目標を共有し、ともに知恵を出し合い、実践していくことができる、連携・協働を重視した「オール朝日町」の計画です。

### 2 住民目線に立ち、成果の分かりやすい計画

計画の進捗や成果を把握しやすく、また、それが住民サービスの向上に結びついていることを分かりやすく示すため、住民目線に立った成果指標を設定し、その達成度を客観的に測ることができる計画とします。

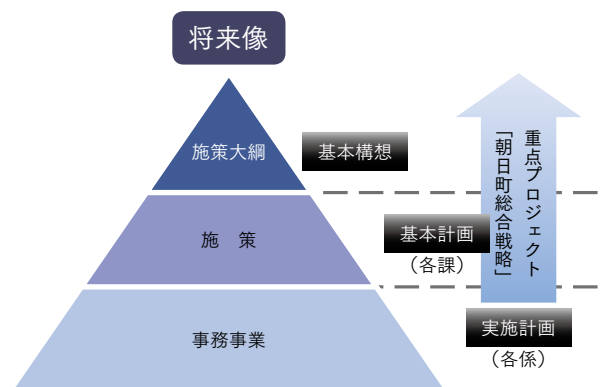
### 3 行政評価や予算と連動する計画

限られた経営資源を効果的に配分（選択と集中）していくため、計画の進捗管理を通じた行政評価や予算措置との連動を考慮した計画とします。

## ■ 計画の構成と期間

計画は、当町の将来像とそれを達成するための諸施策の基本方針を整理した「基本構想」、これに基づいて展開方向および主要な施策を定めた「基本計画」、さらに具体的な事業を定めた「実施計画」で構成されます。

計画期間については、基本構想は平成28年度から平成37年度の10年間、基本計画は前期と後期に区分して各期5年間とします。また、実施計画は3年間として毎年見直しを行います。



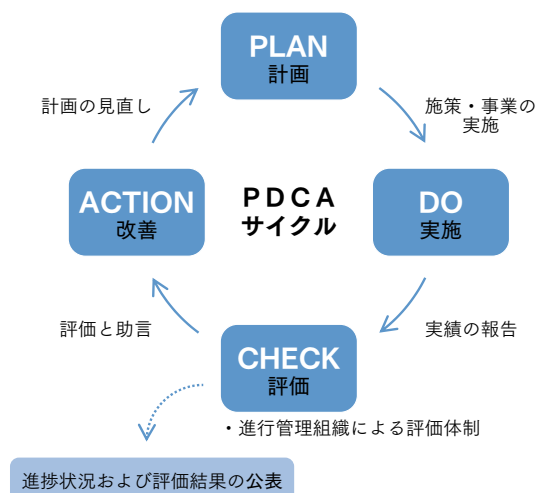
## ■ 計画推進の方針

### 1 多様な主体の参画と連携・協働に基づく計画の推進

まちづくりに関わる様々な主体が、それぞれの特性に応じた役割を果たし、時には連携・協働を図りながら、力を最大限に発揮していきます。そのために、まちづくりに関する情報の共有と参加機会の充実を積極的に進めます。

### 2 成果に基づく計画の進行管理

「計画 (Plan) → 実施 (Do) → 評価 (Check) → 改善 (Action)」のPDCAサイクルに基づき、成果の達成状況を管理していきます。毎年度2回を基本として、計画・実施後の結果の評価、改善策や次の施策展開の検討など、計画全体のフォローアップを行います。



## ■将来像（目指すまちづくり）

町の活気や魅力は、町民一人ひとりの思いと知恵と行動によって生み出されていくものと考えます。町民一人ひとりが「わが町ふるさとのために、できることをやっいてこう」と思い、行動を起こしていく。そのような一人ひとりの町への想いを大切に、目指す方向をみんなで共有しながら、まちづくりを進めてまいります。そのためには、町民一人ひとりが、わが町や地域への愛着や誇りを高め、将来への夢と希望を描いていくことが何よりも大切だと考えます。

そのような考えから、第5次総合計画が目指すまちづくりの将来像として、「夢と希望が持てるまちづくり 朝日町」（「子育て応援日本一のまち」、「生涯健康で活躍できるまち」、「移住・定住・交流で賑わうまち」）を掲げ、町民、地域、団体、事業者、行政の「オール朝日町」で、わが町ふるさとに対する夢と希望を育みながら、町民総参加と協力のもと、町民一人ひとりが活躍し、輝けるまちづくりを進めていきます。

当町には、豊かでダイナミックな「自然」、悠久の「歴史・文化」、ふるさとを想う「人」というかけがえのない強み（資源）があります。それらの魅力をさらに磨き上げながら、みんなで力を合わせて、より豊かで住みよいまちを築いていきます。

## 夢と希望が持てるまちづくり 朝日町

子育て応援  
日本一のまち



病児・病後児保育

生涯健康で  
活躍できるまち

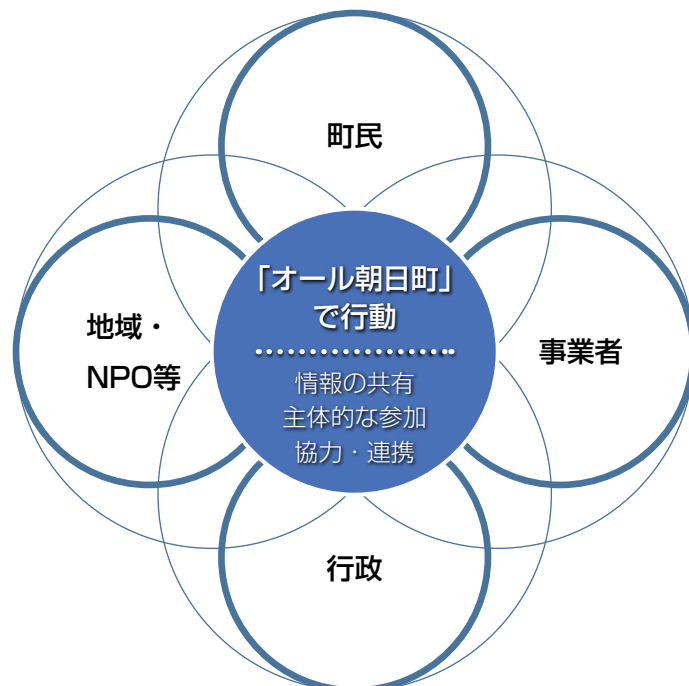


ひすいスポーツクラブ

移住・定住・交流で  
賑わうまち



あさひふるさと体験事業

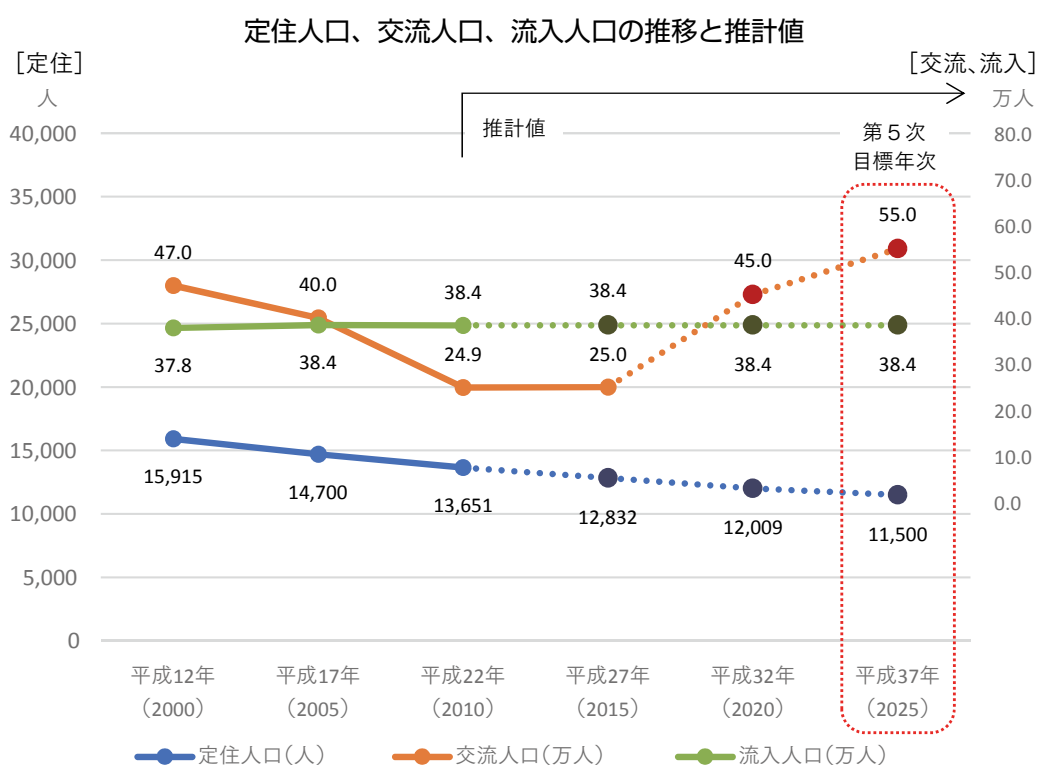


## ■将来人口

活力と賑わいあるまちづくりに取り組む人口指標として、定住人口に加えて、交流人口、流入人口も含めて将来を展望します。

定住人口は、出生率の向上、転出の抑制等が段階的に図られていくという仮定に基づき、平成37年度に11,500人（年少人口1,199人（10.4%）、生産年齢人口5,517人（48.0%）、老年人口4,784人（41.6%））、4,130世帯と展望します。人口減少傾向は続くものの、減少率は縮小し、年少人口の割合は増加に転じていきます。

また、交流人口は、新たな観光商品の造成や観光拠点の整備等を進めることで約55.0万人／年、流入人口は現状水準の維持を目指すこととし約38.4万人／年（1,560人／日）と展望します。



### 【第5次総合計画における将来フレーム 平成37（2025）年推計】

定住人口	11,500人	〔年少人口 1,199人（10.4%） 生産年齢人口 5,517人（48.0%） 老年人口 4,784人（41.6%）〕
総世帯数	4,130世帯	
交流人口	約55.0万人／年	
流入人口	約38.4万人／年（1,560人／日）	

■ 施策大綱

計画策定の前提

将来像

時代の潮流

1. 社会経済のグローバル化の進展
2. 環境問題、食料問題の深刻化、エネルギー政策の見直し
3. 人口減少・少子高齢社会の一層の進展
4. 安全・安心社会への希求
5. 暮らし・意識の多様化、地域コミュニティの変化
6. 地方自治体に求められる自立と改革
7. 情報通信技術の飛躍的な発達
8. 社会経済情勢の変動

朝日町の特性と課題

1. ダイナミックな自然が広がるまち  
①雄大な自然環境、②美しい自然景観、③豊かな自然環境を活かした農林漁業の振興
2. 歴史・文化が薫るまち  
①豊かな歴史・文化資源、②地域での文化芸術活動の展開
3. スポーツ・交流が盛んなまち  
①ビーチボール競技発祥の地、スポーツを通じた交流、②山村生活体験や農林漁業体験での交流、③各地域での活発な交流活動
4. 交通アクセスが便利なまち  
①北陸自動車道朝日ICの活用、②北陸新幹線開業効果の活用
5. 子育て応援日本一を目指しているまち  
①充実した子育て支援策

基本指標

1. 将来フレーム（平成37（2025）年推計値）
  - ・ 定住人口：人口総数11,500人、4,130世帯  
（年少1,199人（10.4%）、生産年齢5,517人（48.0%）、老年4,784人（41.6%））
  - ・ 交流人口：約55.0万人／年
  - ・ 流入人口：約38.4万人／年（1,560人／日）
2. 土地利用の基本方向
  - ・ 土地利用の質的向上の推進
  - ・ 持続可能性の高い土地利用の推進

夢と希望が持てるまちづくり 朝日町

子育て応援  
日本一のまち

生涯健康で  
活躍できるまち

移住・定住・交流  
で賑わうまち



まちづくりの7つの柱(基本目標)

施策分野

1 子育て・教育

[町の「宝」を守り育てる]

- 11 子育て支援
- 12 学校教育
- 13 生涯学習
- 14 スポーツ
- 15 文化

2 健康・福祉

[いつまでも元気で笑顔を保つ]

- 21 健康
- 22 福祉・介護
- 23 医療

3 産業振興

[町の活力を生み出す]

- 31 農林水産業
- 32 企業立地
- 33 商工業

4 観光・交流

[地域の魅力を高める]

- 41 観光
- 42 交流

5 定住

[町の良さを理解し愛される風土をつくる]

- 51 中心市街地
- 52 移住・定住
- 53 地域コミュニティ

6 安全・安心

[町民の暮らし・生命を守る]

- 61 防災
- 62 消防・救急
- 63 防犯・交通安全
- 64 有害鳥獣

7 生活基盤

[心地よい暮らしを支える]

- 71 都市計画
- 72 道路・交通
- 73 緑・水環境
- 74 環境衛生
- 75 情報共有、町民参加
- 76 行財政運営、広域行政



パパママ教室



はつらつ健康サロン



農業体験



舟川べり 春の四重奏



移住体験ツアー



朝日町総合防災訓練



タウンミーティング

## ■重点プロジェクト

当町では平成27年10月に「朝日町総合戦略」を策定しました。この戦略は、町の長期的な人口展望となる朝日町人口ビジョンを踏まえつつ、地域の特性や強みを活かしながら、人口減少対策に重点を置いた「ひとづくり」「しごとづくり」そして「地域づくり」を推進する計画として策定したものです。そして、この総合戦略は、第5次総合計画における主に産業振興、移住・定住対策、子育て支援等の分野を中心として、前期5年間（平成28～32年度）に、重点的かつ戦略的に取り組むべき施策群となります。関連する施策・事業を一体的に展開することで、分野を横断した総合的な成果を挙げることを目指しており、分野別計画の施策全般の先導的な役割を果たすものとなります。これらのことから、先に策定を行っている「朝日町総合戦略」を第5次総合計画の重点プロジェクトとして位置づけて集中的な推進を図ります。

### 重点プロジェクト 1 町に仕事をつくる、町の価値を生み出す

#### [展開方針]

農林漁業の第一次産業が町の特性（強み）であり、農林漁業が雇用の受け皿となるよう、産業基盤の強化を図ります。また、成長著しい観光産業を雇用を生み出す基盤産業として育成していきます。合わせて、若者や高齢者、女性等の個人による起業を促進するなど、多様な雇用の受け皿の確保に向けた取組みを進めます。

#### [基本的な方向・主要事業]

- (1) 雇用の受け皿となる農林漁業の活性化
  - ・新規就農・担い手対策事業、地域ブランド構築事業、お米オーナー事業、地産地消拡大事業、地域木材活用促進事業、漁獲向上支援事業等
- (2) 朝日町の強みを活かした観光の基盤産業化
  - ・土産品開発支援事業、プロモーション強化事業、ヒスイ海岸周辺整備事業等
- (3) 産業の集積と新産業の展開
  - ・ワンストップ窓口設置、工業団地造成事業、Uターン等新規雇用奨励事業、産業フェア開催等
- (4) 起業・就業の支援
  - ・まちなか起業応援事業、起業総合支援事業等



稲刈り

#### [数値目標]

区分	基準値 [H26]	目標 [H32]
新規雇用創出者数* <sup>1</sup>	25人	35人
就業者数* <sup>2</sup> (町の従業者数)	4,606人	4,600人
宿泊者数	65,000人	77,000人

\*1 ここでの新規雇用創出数とは、町の雇用創出奨励金事業（助成金）の交付数をいう。

\*2 ここでの就業者数とは国勢調査による「従業地による就業者数」をいう。基準値は平成22年調査の値。

### 重点プロジェクト 2 町への人の流れをつくる、町に人を呼び込む

#### [展開方針]

働く場の確保と合わせて、若者や子育て年代が、戻ってきたくなる、移り住みたくなるまちづくりを進めていく必要があります。移住・定住に関する情報発信の強化や空き家の活用による住宅供給等の移住対策と、地域住民の意識改革や交流の促進等の受入れ体制づくりを両輪で進め、移住者の呼び込み、移住の定着に結びつけていきます。



朝日町ふるさと暮らしセミナー



**[基本的な方向・主要事業]**

- (1) 町の魅力のアピール強化
- 観光・移住交流情報発信事業、ふるさとチャレンジ検定、あさひっ子共同体験事業等
- (2) 転入者が安心できる受入れ体制の充実
- 空き家コンシェルジュ事業、空き家バンク・相談窓口体制整備、空き家再生等推進事業、移住体験・交流イベント実施、定住サポート事業拡充等
- (3) 戻ってきたくなる、移り住みたくなる環境の整備
- インターンシップ等の促進、UIターン採用企業助成、ふるさと人材確保事業、二地域居住推進、中長期滞在型お試しモデル住宅整備支援事業等

**重点プロジェクト 3 若者の結婚・出産・子育てを応援する****[展開方針]**

既に県下一の水準を誇る手厚い子育て支援策の充実を図るとともに、さらに官民挙げて、若者の結婚・出産・子育てを幅広く応援していきます。また、小さな町の特性を活かした就学前から高校に至るまでの教育環境や学習機会の総合的な充実を図っていきます。

**[基本的な方向・主要事業]**

- (1) 安心して結婚・出産できる環境づくり
- ワンストップ窓口体制の整備、子育て情報の総合的な発信、若者の出会い・交流の支援（あいのトキめき事業）等
- (2) 子育て支援と教育の充実
- 休日保育、延長保育、病児・病後児保育の実施、児童健全育成事業、医療費助成事業（高校生世代まで無料化）、保育料の軽減事業、小中高連携推進事業等

**重点プロジェクト 4 時代に合った地域づくりを進める****[展開方針]**

人口減少社会が進むなかにおいて、地域コミュニティの活性化や地域利便の確保に向けた取組みの充実を図ります。そのためにも地域に愛着と誇りを持ち、地域を支える住民を育て、共に歩いていくことを大切にします。

**[基本的な方向・主要事業]**

- (1) 地域の生活サービス機能の維持
- 安否確認体制整備、買い物支援事業、自治振興会活動支援事業、まちバスの利便性向上等
- (2) 地域コミュニティの活性化
- 地域コミュニティ人材育成事業、朝日町再生会議の実施、タウンミーティングの開催、ふるさと応援団人材バンク、アイデアバンクの開設等

**[数値目標]**

区分	基準値 [H26]	目標 [H32]
若者*の転入者数	99人	120人
転出超過者数	103人	70人以下

\*ここでの若者とは20～39歳をいう。



保育の様子

**[数値目標]**

区分	基準値 [H26]	目標 [H32]
家族の役割として「子どもを産み育てること」が重要だと思う若者の割合	36.0%	40%以上



朝日町再生会議

**[数値目標]**

区分	基準値 [H26]	目標 [H32]
住み慣れた地域で暮らし続けることができると感じる町民の割合	—	75%
地域に誇りを感じている若者の割合	54.9%	70%

# 1 子育て・教育 町の「宝」を守り育てる

安心して子どもを産み育てることができる環境づくり、子育てを地域みんなで支える地域づくり、子どもたちが心身ともに健やかに成長していける人づくりを、町民・地域・民間・行政が一体となって取り組みます。

また、地域で長年培われてきた歴史や文化を大切にしたい個性あるまちづくりと、町民の誰もが生涯にわたって学び、スポーツや芸術文化に親しめるまちづくりを進めます。

【主な施策や成果指標に係る表記について】**戦**：「朝日町総合戦略」で位置づけられている内容、**再**：「朝日町再生会議」からの提言に対応する内容

## 11 子育て支援

### 【主な施策】

- 戦再** 111 保育サービスの充実
- 戦再** 112 地域子育て環境の充実
- 戦再** 113 妊娠・出産・子育て連携システムの構築
- 戦再** 114 子育て世帯への経済的支援の推進
- 戦再** 115 子育て世帯の健康づくり支援
- 戦再** 116 非婚化・晩婚化対策の推進
- 117 障害児や要支援家庭等への支援
- 戦再** 118 仕事と家庭の両立支援

### 【主な成果指標】

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
<b>戦</b> 子育て支援センター利用者数 [年間]	5,609人	7,000人	7,000人
<b>戦</b> この地域で子育てしたいと思う親の割合	—	93%	95%
<b>戦</b> 婚活事業の参加を通じて結婚したカップル数 [累計]	—	30組	45組
<b>戦</b> 元気とやま子育て応援企業認定数 [累計]	12事業所	24事業所	36事業所

## 12 学校教育

### 【主な施策】

- 戦** 121 小中学校の学習指導の充実
- 戦** 122 学校施設環境の充実
- 123 心の教育の推進
- 戦** 124 保小中高連携等の推進
- 125 学校と家庭・地域との連携の促進
- 戦再** 126 ふるさと教育の推進

### 【主な成果指標】

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
<b>戦</b> 子育て家庭の教育面に対する満足度	30%	50%以上	60%以上
<b>戦</b> 地域に誇りを感じている若者の割合	54.9%	70%以上	80%以上



放課後児童クラブ



小・保研修会（保小中高の連携）



中高連携推進事業 部活動交流  
（バスケットボール部）

## 13 生涯学習

## [主な施策]

- 131 生涯学習環境の充実
- 132 学習成果の活用の促進
- 133 人権尊重と男女共同参画の推進

## [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
公民館講座の受講者数 [年間]	10,694人	11,000人	12,000人
審議会等における女性委員の割合	14.3%	20%	30%

## 14 スポーツ

## [主な施策]

- 141 健康スポーツの推進
- 142 子どもの体力・運動能力の向上
- 143 競技スポーツの推進

## [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
総合型地域スポーツクラブ 「ひすいスポーツクラブ」会 員数 [累計]	254人	400人	500人
週1～2日以上運動をする(体 育の授業を除く) 児童の割合	80.6%	85%	85%

## 15 文化

## [主な施策]

- 151 芸術・文化活動への幅広い市民の参加
- 152 歴史、文化財や伝統文化の保全・継承

## [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
ふるさと美術館入館者数 [年間]	5,786人	6,000人	7,000人
あさひ芸能文化祭入場者数 [年間]	1,970人	2,000人	2,200人



生涯学習フェスティバル



まめなけ！あさひスポーツデー



鹿嶋神社稚児舞（宮崎地区）



吉祥院米吊り奉納（山崎地区）



## 2 健康・福祉 いつまでも元気で笑顔を保つ

保健・福祉・介護・医療の連携を高め、地域で支え合いながら、住み慣れた地域で、元気に生きがいを持って暮らしていける地域づくりを進めます。

あさひ総合病院が、地域医療の中核として機能を発揮していくとともに、切れ目のない医療・介護が受けられる環境づくりを進めます。

### 21 健康

#### [主な施策]


- 211 生活習慣病予防の推進
- 212 がん対策の推進
- 213 心の健康対策
- 214 感染症予防の推進

#### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
特定健診受診率 [年間]	53.9%	60.0%	65.0%
特定保健指導利用率 [年間]	12.4%	40.0%	60.0%

### 22 福祉・介護

#### [主な施策]

- 221 高齢者福祉の充実
- 222 介護保険事業の推進、地域包括ケア体制の整備
-  223 地域福祉の推進
- 224 障害者福祉の推進

#### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
生きがいを持っている高齢者の割合	76.2%	80.0%	85.0%
介護予防教室参加人数 [年間]	4,866人	5,300人	7,800人
ケアネットチーム数	48チーム	55チーム	60チーム

### 23 医療

#### [主な施策]

- 231 病院の機能強化
- 232 医師・看護師の確保
- 233 救急医療体制の充実

#### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
あさひ総合病院の常勤医師数	12人	14人	16人
あさひ総合病院の看護師数	81人	85人	90人



予防接種



あさひ総合病院

### 3 産業振興 町の活力を生み出す

地域産業および雇用の維持・発展を図るため、地域資源を活かした産業の活性化と企業の誘致を積極的に進めます。農林水産業における経営体の強化、担い手の育成、地産地消の推進等により、活力ある農林水産業・農山漁村の振興を図ります。また、地域に根ざした商業・サービスの活性化を推進し、地域の活力を支える商工業の振興を図ります。

#### 31 農林水産業

**[主な施策]**

- 戦 311 経営基盤の強化、担い手の確保・育成
- 312 生産基盤の整備
- 戦再 313 6次産業化と農商工等連携の推進
- 戦 314 地産地消の推進
- 戦 315 林業・漁業の持続的発展

**[主な成果指標]**

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
戦 法人化された農業経営体数 [累計]	11法人	13法人	15法人
戦 認定新規就農者認定数 [累計]	2件	10件	20件
戦 6次産業化法計画認定数 [累計]	2事業者	4事業者	6事業者
戦 新規漁業就業者数 [累計]	—	5人	10人

#### 32 企業立地

**[主な施策]**

- 戦 321 企業誘致体制の強化
- 戦 322 新工業団地の整備
- 戦 323 企業誘致に対する支援制度の強化

**[主な成果指標]**

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
戦 新規企業立地件数 [累計]	—	2件	3件
戦 新規工業用地造成面積 [累計]	—	60,000㎡	90,000㎡

#### 33 商工業

**[主な施策]**

- 戦 331 既存企業・事業所の経営体質の強化
- 戦 332 新たな事業展開の促進
- 戦再 333 起業・就業の促進
- 戦再 334 若者の就職・転職等の機会創出、地元企業の魅力発信

**[主な成果指標]**

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
戦 起業・開店数 [累計]	—	7件	12件
戦 UIJターン就職者数 [累計]	—	35人	70人



特産加工品



朝日工業団地

## 4 観光・交流 地域の魅力を高める

海・山・川の豊かな自然資源・歴史文化などを活かして、観光・交流の魅力を高めるとともに、様々な機会を捉え、町内外の人々の出会い・憩いの場を提供することで、地域活性化と交流人口の拡大を図ります。拡大著しい国際観光と新幹線時代に対応し、広域的な連携を高めながら取組みを進めます。

### 41 観光

#### [主な施策]

- 戦再 411 観光素材の魅力向上
- 戦再 412 受入れ体制の整備
- 戦 413 情報発信・プロモーションの強化
- 戦再 414 着地型観光の推進
- 戦再 415 観光拠点の整備
- 戦再 416 広域連携観光事業の推進

#### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
戦 宿泊者数 [年間]	65,000人	77,000人	85,000人
戦 観光客入込数 [年間]	25.0万人	45.0万人	50.0万人
戦 着地型旅行商品造成数 [年間]	12回	30回	30回
戦 ヒスイ海岸観光客入込数 [年間]	9.4万人	20.0万人	22.5万人
戦 舟川観光客入込数 [年間]	2.8万人	10.0万人	11.0万人
戦 広域観光企画開発数 [累計]	—	4件	8件

### 42 交流

#### [主な施策]

- 421 他都市との交流の推進
- 422 町民交流の推進
- 戦 423 合宿・教育旅行における交流推進

#### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
戦 教育旅行受入れ数 [年間]	150人	720人	920人
戦 スポーツ合宿受入れ数 [年間]	2,738人	3,000人	3,000人



ヒスイ海岸



オータムフェスタin五叉路



全国ビーチボール競技大会



中学校修学旅行受入れ



## 5 定住 町の良さを理解し愛される風土をつくる

良質な宅地や住宅の供給を促進し、移住・定住に関する総合的な情報提供、相談窓口の設置、空き家の活用促進、定住サポート事業の推進などにより、「移り住みたい」、「住み続けたい」地域づくりを進めます。

泊市街部の商業振興、賑わい創出を図ります。また、地域コミュニティの組織・活動の充実を図り、地域の活性化や暮らしの安心感を高めます。

### 51 中心市街地

#### [主な施策]

- 511 町民、来訪者の交流による賑わいの創出
- 戦** **再** 512 商業機能の維持・向上
- 513 回遊性の向上と街並みの形成
- 514 文化・福祉等の都市機能の集積

#### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
まめなけ市場利用者 [年間]	—	72,000人	80,000人
地域による緑化修景活動協力軒数 [累計]	—	30軒	50軒

### 52 移住・定住

#### [主な施策]

- 戦** 521 情報発信体制の強化
- 戦** **再** 522 総合的な案内・相談、支援の体制整備
- 戦** **再** 523 空き家利活用の促進
- 戦** **再** 524 地域の受入れ体制の充実
- 戦** 525 移住・定住に係る経済的支援の充実
- 戦** **再** 526 移り住みたくなる環境整備

#### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
<b>戦</b> 町の対外的な認知度・イメージが高まっていると感じる割合	—	80%	90%
<b>戦</b> 空き家コンシェルジュによる移住斡旋・サポート件数 [年間]	2件	30件	60件
<b>戦</b> 地域おこし協力隊の定着人数 [累計]	—	4人	10人
<b>戦</b> 空き家を活用した移住お試しモデル住宅の整備・支援数 [累計]	—	6棟	10棟

### 53 地域コミュニティ

#### [主な施策]

- 戦** 531 コミュニティ活動の活性化
- 戦** 532 コミュニティ活動施設の整備

#### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
<b>戦</b> 自治振興会提案・実施件数 [累計]	2件	20件	20件
<b>戦</b> 地域振興施設利用者数 [年間]	54,088人	60,000人	60,000人



まめなけマルシェ



自治振興会活動支援事業 自治振興会ポスター展

## 6 安全・安心 町民の暮らし・生命を守る

町民の暮らしと生命を守るため、防災、消防、防犯、交通安全、有害鳥獣対策の施策を総合的に展開していくとともに、地域における自主的な活動を充実させ、安全と安心がしっかりと実感できる地域づくりを進めます。

### 61 防災

#### [主な施策]

- 611 防災拠点の機能強化と防災設備の充実
- 612 防災教育・訓練の充実、防災情報の発信体制強化
- 613 危機管理・防災体制の強化
- 614 治山治水対策の推進

#### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
公共施設（防災拠点）耐震化率	86.0%	90%	100%
自主防災組織数 [累計]	86組織	88組織	90組織

### 62 消防・救急

#### [主な施策]

- 621 火災予防の推進
- 622 消防力の強化
- 623 地域消防体制の充実
- 624 救急救命体制の充実

#### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
防火水槽数 [累計]	73基	78基	83基
救急救命講習受講者数 [年間]	955人	980人	1,000人

### 63 防犯・交通安全

#### [主な施策]

- 631 防犯対策の強化
- 632 交通安全対策の充実
- 633 消費者行政の充実

#### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
青色防犯パトロール回数 [年間]	666回	670回	680回
防犯カメラ設置数 [累計]	2台	10台	15台

### 64 有害鳥獣

#### [主な施策]

- 641 対策体制の強化
- 642 防除施設の整備・管理
- 643 野生生物との共生

#### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
鳥獣被害対策実施隊員数 [累計]	38人	80人	100人
電気柵の設置延長 [累計]	30,000m	33,000m	33,000m



救助訓練



地区青色防犯パトロール啓発活動

## 7 生活基盤 心地よい暮らしを支える

町民の利便性・快適性を高めていくため、道路、交通、公園緑地、生活環境、情報化（ICT）などの生活基盤施設の充実を図っていきます。

行政においては、透明性と情報提供を高めながら、一層、効率的で効果的な行財政運営を推進します。また、地域の自主性を尊重した町民総参加によるまちづくりを推進します。

### 71 都市計画

#### [主な施策]

- 711 都市計画
- 712 都市計画道路
- 713 土地区画整理事業

#### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
都市計画道路の整備延長	9km	9.6km	10km
泊駅南地区土地区画整理事業の整備済面積	—	11.0ha	11.0ha

### 72 道路・交通

#### [主な施策]

- 721 幹線町道の改良
- 722 通学路等への安全施設の整備
- 723 道路橋梁の適正な維持管理の推進
- 724 広域道路ネットワークの促進
- 725 除雪・消雪対策の推進
- 戦 726 公共交通の充実

#### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
幹線町道の整備率	87%	89%	91%
<span style="color: red;">戦</span> まちバス利用者数 [年間]	26,097人	30,000人	35,000人

### 73 緑・水環境

#### [主な施策]

- 731 地域資源を活かした公園整備
- 732 簡易水道施設の整備・維持管理
- 733 公共下水道事業の推進

#### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
都市公園面積（都市計画区域内1人当たり）	9.9㎡	12.3㎡	12.8㎡
下水道接続率（水洗化率）	71.5%	80.0%	90.0%



都市計画道路（沼保宮本町線）



あさひまちバス



## 74 環境衛生

### [主な施策]


- 741 循環型社会の構築
- 742 公害防止・地球温暖化対策の推進
- 743 環境美化の促進
- 744 特定空き家等の是正の推進

### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
1人1日当たりごみ排出量	980g/人・日	950g/人・日	910g/人・日
住民による環境美化活動数 [年間]	148件	150件	150件

## 75 情報共有、町民参加

### [主な施策]

- 751 広報・広聴の充実、情報化の推進
-  752 行政と町民の協働・連携の推進

### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
 再生会議によるまちづくり提案事業化件数 [累計]	—	10件	20件
 ふるさと応援団人材バンク登録者数 [累計]	—	40人	60人

## 76 行財政運営、広域行政

### [主な施策]

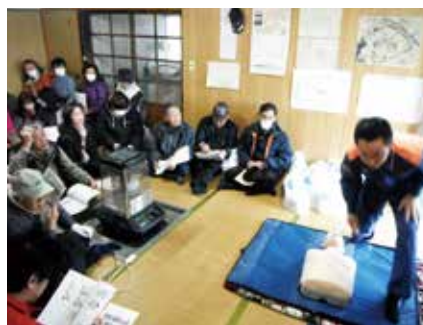
- 761 行政改革の推進
- 762 職員の人材育成
- 763 健全財政
- 764 公共施設の適正管理・適正配置
- 765 広域行政の推進

### [主な成果指標]

主な成果指標	基準値 [H26]	中間目標 [H32]	目標 [H37]
自主財源比率	38.0%	38.9%	38.4%
税収納率	84.9%	87.9%	90.8%



町民総ぐるみ清掃デー



出前講座





## 富山県朝日町

富山県下新川郡朝日町道下1133番地  
電話：0765-83-1100 (代表)  
<http://www.town.asahi.toyama.jp/>

